

【人文科学研究科フランス文学専攻】

講義コード	講義科目名(正式)	副題	単位	講義期間	担当教員名(代表者のみ)	備考
M360200101	フランス語学特殊研究(大学院)		4	通年	松村 剛	
M360202101	◆フランス文学特殊研究(学部:フランス語圏文化演習(文学・思想))(大学)	マルセル・ブルースト研究	4	通年	鈴木 雅生	
M360300101	◆フランス語学演習(学部:フランス語圏文化演習(言語・翻訳))(大学院)		4	通年	DEMARNE, Marguerite	
M360300102	◆フランス語学演習(学部:フランス語圏文化演習(言語・翻訳))(大学院)		4	通年	中尾 和美	
M360301101	◆フランス文学演習(学部:フランス語圏文化演習(文学・思想))(大学院)	Théâtre de Paul Claudel (4)	4	通年	MARE, Thierry	
M360302101	◆フランス演劇演習(学部:フランス語圏文化演習(舞台・映像))(大学院)	フェドーからベケットへ	4	通年	大野 麻奈子	
M360100101	修士論文指導(フランス文学専攻)		2	集中(通年)	野村 正人	
D360100101	博士論文指導(フランス文学専攻)		2	集中(通年)	野村 正人	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

課程	大学院
講義コード	M360200101
科目ナンバリング	136F101
科目名	フランス語学特殊研究(大学院)
英文科目名	Studies in the French Language
担当者名	松村 剛
単位	4
時間割	通年 月曜日 4時限 仏文院生室
副題	

授業概要

フランス語の歴史的、地域的な広がりと多様性を理解していただくことを目的とします。そのために必要な道具を紹介し、それらを批判的に活用する練習をしていただきます。

到達目標

履修者各自の研究対象と関連させながら、フランス語の歴史的、地域的な広がり多様性を理解していただくことを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	概説。
第2回	Le Petit Robert の特徴と問題点。
第3回	Le Petit Robert の批判的読解演習。
第4回	Le Tresor de la Langue francaise の特徴。
第5回	Le Tresor de la Langue francaise の問題点。
第6回	Le Tresor de la Langue francaise の批判的読解演習。
第7回	Dictionnaire des onomatopées の特徴と問題点。
第8回	Dictionnaire des onomatopées の批判的読解演習。
第9回	Dictionnaire des jurons の特徴と問題点。
第10回	Dictionnaire des jurons の批判的読解演習。
第11回	Dictionnaire des regionalismes de France の特徴と問題点。
第12回	Dictionnaire des regionalismes de France の批判的読解演習。
第13回	Franzosisches Etymologisches Worterbuch の特徴と問題点。
第14回	Franzosisches Etymologisches Worterbuch の批判的読解演習。
第15回	総括。
第16回	Le Bon Usage の特徴と問題点。

- 第17回 Le Bon Usage の批判的読解演習。
- 第18回 Littré の特徴と問題点。
- 第19回 Littré の批判的読解演習。
- 第20回 Huguet の特徴と問題点。
- 第21回 Huguet の批判的読解演習。
- 第22回 Dictionnaire du Moyen Francais の特徴と問題点。
- 第23回 Dictionnaire du Moyen Francais の批判的読解演習。
- 第24回 Godefroy の特徴と問題点。
- 第25回 Godefroy の批判的読解演習。
- 第26回 Tobler-Lommatzsch の特徴と問題点。
- 第27回 Tobler-Lommatzsch の批判的読解演習。
- 第28回 Anglo-Norman Dictionary の特徴と問題点。
- 第29回 Anglo-Norman Dictionary の批判的読解演習。
- 第30回 総括。

授業計画コメント

授業方法

講義と演習。

使用言語

日本語	1	英語		日本語・英語以外	1
-----	---	----	--	----------	---

準備学習(予習・復習)

事前に指示した箇所を読んでおくこと(約2時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト		
平均点(出席、クラス追加、グループ作業の成果等)	80 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):80%(積極的に授業に参加すること。) レポート:20%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学生のレポートその他は授業内でコメントし、授業の内容に反映させる。

教科書

教科書コメント

授業時に指示する。

参考文献

参考文献コメント

授業時に指示する。

履修上の注意

その他

課程	大学院
講義コード	M360202101
科目ナンバリング	136F103
科目名	◆フランス文学特殊研究(学部:フランス語圏文化演習(文学・思想))(大学院)
英文科目名	Studies in French Literature
担当者名	鈴木 雅生
単位	4
時間割	通年 金曜日 4時限 仏文院生室
副題	マルセル・ブルースト研究

授業概要

20世紀文学の頂点とも言われるブルーストの『失われた時を求めて』、この長大な小説の冒頭部「コンプレー」を読む。重要な場面を選んで精読しながら、この作家の特徴を理解するとともに、『失われた時を求めて』という小説の全体像を把握することを試みる。

到達目標

フランス語の高度なテキストを読み、文化的歴史的背景とともに理解するとともに、自らの言葉で解釈・分析できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	作家および作品についての解説
第3回	L'ouverture du roman (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第4回	L'ouverture du roman (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第5回	La lanterne magique (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第6回	La lanterne magique (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第7回	Le baiser du soir (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第8回	Le baiser du soir (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第9回	La petite Madeleine (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第10回	La petite Madeleine (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第11回	L'infusion de tante Léonie (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第12回	L'infusion de tante Léonie (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第13回	La lecture (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第14回	La lecture (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第15回	まとめ

第16回	後期ガイダンス
第17回	Les deux côtés (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第18回	Les deux côtés (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第19回	Le côté de Méséglise (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第20回	Le côté de Méséglise (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第21回	Le côté de Guermantes (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第22回	Le côté de Guermantes (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第23回	L'absence de dons littéraires (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第24回	L'absence de dons littéraires (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第25回	Les clochers de Martinville (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第26回	Les clochers de Martinville (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第27回	Le retour au dormeur éveillé (1): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第28回	Le retour au dormeur éveillé (2): 担当者によるテキストの精読およびコメント・分析、質疑応答、教員のコメントと解説
第29回	予備日
第30回	まとめ

授業計画コメント

授業計画はあくまで予定であり、受講者の関心や授業の進捗によって変更する可能性があることは言うまでもない。

授業方法

演習形式の授業であるので、大筋を説明した後は、各自にテキストを分担してもらいながら授業を進める。単なる訳読ではなく、担当した箇所の分析やコメントを求めるため、必要に応じてテキスト外の資料も参照することとなるだろう。最終的には各々の関心のある観点からレポートをまとめてもらう。

使用言語

日本語	1	英語		日本語・英語以外	1
-----	---	----	--	----------	---

準備学習(予習・復習)

自分の担当範囲はもちろん、各回で進むテキストの部分を下調べすること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	60 %	
小テスト		
平均点(出席、クラス追加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出されたレポートについては、コメントを付与のうえ返却する。

教科書

Du côté de chez Swann,Proust,Larousse,Petits Classiques,2010

教科書コメント

参考文献

参考文献コメント

履修上の注意

第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

課程	大学院
講義コード	M360300101
科目ナンバリング	136F104
科目名	◆フランス語学演習(学部:フランス語圏文化演習(言語・翻訳))(大学院)
英文科目名	Seminar in the French Language
担当者名	DEMARNE, Marguerite
単位	4
時間割	通年 水曜日 2時限 仏文院生室
副題	

授業概要

Axe du cours : commentaire de texte et dissertation. 1) Le commentaire de texte est une analyse grammaticale et stylistique d'un texte. Cet exercice rigoureux demande l'acquisition d'un raisonnement logique, d'un vocabulaire propre, et d'une expression personnelle qui passe par l'apprentissage de phrases simples ayant un contenu et un sens intelligible pour votre lecteur. Pour y parvenir, nous interrogerons, en classe, inlassablement et rigoureusement des textes.

到達目標

Comment commenter des textes. Envisager des bourses de recherche en France, dans des pays francophones.

授業内容

実施回	内容
第1回	Orientation.Distribution de texte. Analyse du texte.
第2回	Commentaires.Travaux sur table (1) Corrections.
第3回	Commentaires.Travaux sur table (2)Corrections.
第4回	Distribution de texte.Analyse du texte.
第5回	Commentaires.Travaux sur table (1)Corrections.
第6回	Commentaires.Travaux sur table (2)Corrections.
第7回	Exposition de vos analyses en un seul devoir.Corrections.
第8回	Distribution de texte.Analyse du texte.
第9回	Commentaires.Travaux sur table (1)Corrections.
第10回	Commentaires.Travaux sur table (2)Corrections.
第11回	A partir du corpus de textes, envisager une dissertation.Corrections.
第12回	Dissertation.Corrections.
第13回	Distribution de texte.Analyse du texte.
第14回	Commentaires.Travaux sur table (1)Corrections.
第15回	Commentaires.Travaux sur table (2)Corrections.

- 第16回 Distribution de texte.Analyse du texte.
- 第17回 Commentaires.Travaux sur table (1)Corrections.
- 第18回 Commentaires.Travaux sur table (2)Corrections.
- 第19回 A partir du corpus de textes, engager une dissertation.Corrections.
- 第20回 Dissertation.Corrections.
- 第21回 Distribution de texte.Analyse du texte.
- 第22回 Commentaires.Travaux sur table (1)Corrections
- 第23回 Commentaires.travaux sur table (2)Corrections.
- 第24回 Exposition de vos arguments en un seul devoir.Corrections.
- 第25回 Distribution de texte.Analyse du texte.
- 第26回 Commentaires.Travaux sur table (1)Corrections.
- 第27回 Commentaires.Travaux sur table (2)Corrections
- 第28回 Exposition de vos raisonnements en un seul devoir.Corrections.
- 第29回 A partir du corpus de textes, construire une dissertation.Corrections.
- 第30回 Dissertation.Corrections.

授業計画コメント

授業方法

Lire.

使用言語

日本語		英語		日本語・英語以外	1
-----	--	----	--	----------	---

準備学習(予習・復習)

Lire.

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	70 %	
小テスト		
平均点(出席、クラス追加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

Distribution de photocopies de textes, pour la plupart contemporains.Analyse et explication rigoureuses de ces textes afin de fuir les contre-sens. Confrontation, validation ou infirmation des jugements, des opinions, selon ces textes. Recherche d'un vocabulaire propre. Apprentissage d'une phrase construite avec un sens intelligible par tous.Ce travail se fera ensemble, nous ferons notre

propre animation et ambiance !

教科書

教科書コメント

参考文献

参考文献コメント

履修上の注意

その他

課程	大学院
講義コード	M360300102
科目ナンバリング	136F104
科目名	◆フランス語学演習(学部:フランス語圏文化演習(言語・翻訳))(大学院)
英文科目名	Seminar in the French Language
担当者名	中尾 和美
単位	4
時間割	通年 火曜日 4時限 西2-406
副題	

授業概要

フランス語で書かれた言語学関連の短い論文を読むことで、論文フランス語に慣れると同時に、言語学の第一歩となるような視点を養う。今年度は、多言語使用や翻訳について、主として言語景観(街中の看板や標識、広告など)におけるフランス語を中心に考察を深めたい。

到達目標

論文フランス語を通してフランス語の知識を増やすこと、書き言葉のフランス語に慣れること、フランス語らしいフランス語が書けるようになること、ことば一般に対する興味を深めることを目指す。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	借用語・借用表現
第3回	広告の言語と外国語の使用
第4回	固有名詞の翻訳
第5回	多言語使用に関する論文講読(1)
第6回	多言語使用に関する論文講読(2)
第7回	多言語使用に関する論文講読(3)
第8回	多言語使用に関する論文講読(4)
第9回	多言語使用に関する論文講読(5)
第10回	多言語使用に関する論文講読(6)
第11回	発表(1)
第12回	発表(2)
第13回	発表(3)
第14回	授業の総括
第15回	予備日
第16回	日本の街中に見られるフランス語

第17回	多言語表記の標識や看板
第18回	言語景観に関する論文の講読(1)
第19回	言語景観に関する論文の講読(2)
第20回	言語景観に関する論文の講読(3)
第21回	言語景観に関する論文の講読(4)
第22回	言語景観に関する論文の講読(5)
第23回	言語景観に関する論文の講読(6)
第24回	言語景観に関する論文の講読(7)
第25回	言語景観に関する論文の講読(8)
第26回	発表(1)
第27回	発表(2)
第28回	発表(3)
第29回	授業の総括
第30回	予備日

授業計画コメント

授業方法

一方的な講義ではなく、参加者との議論を交えて授業を進めていく。またフランス語で書かれた論文を精読することで、考察を深めると同時に、論文フランス語のスタイルに慣れ、かつフランス語での読解力を養うことを目標とする。定期的に参加者の発表を予定しているため、積極的に議論に参画し、かつ言語調査をする意欲を持っていることが望まれる。参加者の興味によっては、柔軟に授業の内容を変更することもあるので、各自興味と意欲を持って授業に臨んでほしい。

使用言語

日本語	1	英語		日本語・英語以外	1
-----	---	----	--	----------	---

準備学習(予習・復習)

論文の担当箇所を調べるだけでなく、論文全体を読んで内容を理解するようにしておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	50 %	
小テスト		
平均点(出席、クラス追加、グループ作業の成果等)	50 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):(テキストの予習、授業における参画、発表。)単なる出席ではなく、授業への参加態度も成績評価の対象とする。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

レポートについては、コメント、返却する。

教科書

教科書コメント

授業で講読する論文は、授業中に指示する。

参考文献

Les voix de la ville,L.-J. Calvet,Editions Payot & Rivages,1994

Linguistic landscapes,P. Backhaus,Multilingual Matters,2007

ミモロジック,G.ジュネット,書肆風の薔薇,1991

Dire presque la même chose,U.Eco,Le livre de poche,2010

翻訳,M. ウスティノフ ,白水社,2008

参考文献コメント

必要に応じて授業中に指示する。

履修上の注意

その他

課程	大学院
講義コード	M360301101
科目ナンバリング	136F105
科目名	◆フランス文学演習(学部:フランス語圏文化演習(文学・思想))(大学院)
英文科目名	Seminar in French Literature
担当者名	MARE, Thierry
単位	4
時間割	通年 水曜日 3時限 仏文院生室
副題	Théâtre de Paul Claudel (4)

授業概要

Ce cours prend la suite du Séminaire de l'année dernière. Après "L'Otage" (1908), nous nous intéresserons à la deuxième pièce du "Cycle des Coufontaines", "Le Pain dur", écrite entre 1913 et 1915, publiée à la N.R.F. en 1918. Des trois pièces qui composent la trilogie, celle-ci est la plus âpre et, dans l'œuvre de Claudel, ce qu'on peut imaginer de plus proche du réalisme balzacien.

到達目標

Ce cours est destiné aux étudiants intéressés par le théâtre moderne aussi bien que par la poésie française du début du XXème siècle, que celle-ci soit chrétienne ou non : la perspective religieuse n'ayant ici de sens que dans la mesure où elle permet d'éclairer certains aspects du texte claudélien.

授業内容

実施回	内容
第1回	La pièce fera l'objet d'analyses successives, à raison d'une scène par séance. Ce rythme ne doit cependant pas être contraignant.
第2回	
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	

- 第16回
- 第17回
- 第18回
- 第19回
- 第20回
- 第21回
- 第22回
- 第23回
- 第24回
- 第25回
- 第26回
- 第27回
- 第28回
- 第29回
- 第30回

授業計画コメント

授業方法

Je m'efforcerais de livrer à chaque fois une analyse aussi détaillée que possible des circonstances historiques, particulièrement importantes et complexes dans le cas du Pain dur, ainsi que des enjeux littéraires et d'apporter toutes les informations (culturelles, littéraires, linguistiques) susceptibles d'éclairer l'intelligence de cette œuvre.

使用言語

日本語		英語		日本語・英語以外	1
-----	--	----	--	----------	---

準備学習(予習・復習)

Les étudiants pourront, s'ils le désirent, préparer le texte avant chaque cours et en chercher le vocabulaire dans un dictionnaire. La poésie de Claudel est difficile : souvent les mots n'y ont pas le sens qu'ils devraient ! Les préparations peuvent donc s'avérer décevantes...

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平均点(出席、クラス追加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

成績評価コメント

Exposés : 100% Chaque étudiant sera tenu de procéder oralement, en français et devant ses camarades, à une explication de texte sur un passage que je lui aurai assigné.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

Des commentaires sur le travail effectué seront faits à chaque participant.

教科書

L'Otage / Le Pain dur / Le Pere humilié : Folio, Paul Claudel, Gallimard, 1972, 9782070361700

教科書コメント

N'importe quelle autre édition me conviendra tout aussi bien ! Celle-ci a l'avantage de présenter l'ensemble du Cycle des Coûfontaines.

参考文献

参考文献コメント

履修上の注意

第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

課程	大学院
講義コード	M360302101
科目ナンバリング	136F106
科目名	◆フランス演劇演習(学部:フランス語圏文化演習(舞台・映像))(大学院)
英文科目名	Seminar in French Theater
担当者名	大野 麻奈子
単位	4
時間割	通年 火曜日 3時限 仏文院生室
副題	フェドーからベケットへ

授業概要

ジョルジュ・フェドーらの幾つかの作品の抜粋を読み、ヴォードヴィルについての理解を深めたうえで、サミュエル・ベケットの『芝居』を読み解くことを試みる。

到達目標

現代演劇の系譜の理解。

授業内容

実施回	内容
第1回	サミュエル・ベケットについて。
第2回	ジョルジュ・フェドーとヴォードヴィル概説。
第3回	授業内では、配布したプリントの読解が中心。フランス語で書かれた作品や研究書の抜粋を読む。
第4回	映像資料も必要に応じて視聴する。
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	
第16回	

- 第17回
- 第18回
- 第19回
- 第20回
- 第21回
- 第22回
- 第23回
- 第24回
- 第25回
- 第26回
- 第27回
- 第28回
- 第29回
- 第30回

授業計画コメント

授業方法

講義ではなく、演習。グループワークを採り入れる(発表の際)可能性もある。

使用言語

日本語	1	英語		日本語・英語以外	1
-----	---	----	--	----------	---

準備学習(予習・復習)

配布されたプリントの予習。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	80 %	
小テスト		
平均点(出席、クラス追加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

夏季レポートは後期始めにコメントをつけて返却する。

教科書

教科書コメント

プリントを配布する予定。

参考文献

参考文献コメント

授業時に指示をする。

履修上の注意

第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

課程	大学院
講義コード	M360100101
科目ナンバリング	136F201
科目名	修士論文指導(フランス文学専攻)
英文科目名	Supervision for Master's Thesis
担当者名	野村 正人
単位	2
時間割	集中(通年) その他 集中講義
副題	

授業概要

修士論文の遅滞なく完成させるために、資料収集の方法、論文の構成の仕方、具体的なテーマの選び方などを指導する。

到達目標

修士論文を完成できる

授業内容

- 1 修士論文のテーマ選択について1
- 2 修士論文のテーマ選択について2
- 3 文献調査の方法1
- 4 文献調査の方法2
- 5 文献調査の方法3
- 6 文献調査の方法4
- 7 論文の構成の仕方1
- 8 論文の構成の仕方2
- 9 論文の構成の仕方3
- 10 院生による修士論文計画の発表とそれに対する指導1
- 11 院生による修士論文計画の発表とそれに対する指導2
- 12 院生による修士論文計画の発表とそれに対する指導3
- 13 院生による修士論文計画の発表とそれに対する指導4
- 14 院生による修士論文計画の発表とそれに対する指導5
- 15 自主研究
- 16 院生が直面する問題提出とそれに対する指導1
- 17 院生が直面する問題提出とそれに対する指導2
- 18 院生が直面する問題提出とそれに対する指導3
- 19 院生が直面する問題提出とそれに対する指導4
- 20 院生が直面する問題提出とそれに対する指導5
- 21 院生が直面する問題提出とそれに対する指導6
- 22 院生が直面する問題提出とそれに対する指導7
- 23 院生が直面する問題提出とそれに対する指導8
- 24 院生が直面する問題提出とそれに対する指導9
- 25 院生が直面する問題提出とそれに対する指導10
- 26 院生が直面する問題提出とそれに対する指導11
- 27 院生が直面する問題提出とそれに対する指導12
- 28 院生が直面する問題提出とそれに対する指導13
- 29 院生が直面する問題提出とそれに対する指導14
- 30 自主研究

授業計画コメント

授業方法

院生の提出物の添削や質疑応答

使用言語

使用言語

日本語	1	英語		日本語・英語以外	
-----	---	----	--	----------	--

準備学習(予習・復習)

事前に自分が抱えている問題を整理しておくこと(一時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
レポート	70 %	
小テスト		
平均点(出席、クラス追加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

面談によるフィードバック

教科書

教科書コメント

参考文献

参考文献コメント

履修上の注意

その他

課程	大学院
講義コード	D360100101
科目ナンバリング	136F202
科目名	博士論文指導(フランス文学専攻)
英文科目名	Supervision for Doctoral Thesis
担当者名	野村 正人
単位	2
時間割	集中(通年) その他 集中講義
副題	

授業概要

博士論文の遅滞なく完成させるために、資料収集の方法、論文の構成の仕方、具体的なテーマの選び方などを指導する。

到達目標

博士論文を完成できる

授業内容

- 1 博士論文のテーマ選択について1
- 2 博士論文のテーマ選択について2
- 3 文献調査の方法1
- 4 文献調査の方法2
- 5 文献調査の方法3
- 6 文献調査の方法4
- 7 論文の構成法1
- 8 論文の構成法2
- 9 論文の構成法3
- 10 院生による博士論文計画の発表とそれにたいする指導1
- 11 院生による博士論文計画の発表とそれにたいする指導2
- 12 院生による博士論文計画の発表とそれにたいする指導3
- 13 院生による博士論文計画の発表とそれにたいする指導4
- 14 院生による博士論文計画の発表とそれにたいする指導5
- 15 自主研究
- 16 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導1
- 17 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導2
- 18 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導3
- 19 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導4
- 20 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導5
- 21 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導6
- 22 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導7
- 23 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導8
- 24 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導9
- 25 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導10
- 26 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導11
- 27 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導12
- 28 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導13
- 29 院生が直面する問題提出とそれにたいする指導14
- 30 自主研究

授業計画コメント

授業方法

院生の提出物の添削や質疑応答

使用言語

使用言語

日本語	1	英語		日本語・英語以外	
-----	---	----	--	----------	--

準備学習(予習・復習)

事前に自分が抱えている問題を整理しておくこと

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
レポート	70 %	
小テスト		
平均点(出席、クラス追加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

面談によるフィードバック

教科書

教科書コメント

参考文献

参考文献コメント

履修上の注意

その他